

第4学年 社会科指導案

日 時 平成24年10月17日(水)

児 童 男子9名 女子14名 計23名

指導者 小野寺 敦子

- 1 単元名 わたしたちの岩手県
(3) 平泉町の人たちの暮らし

2 単元を展開するにあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領第3学年および第4学年の目標(2)「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。」と(3)「地域社会における社会的事業を観察・調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事業の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」を受けて、内容(6)「県の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色を考えるようにする。」のウ「県内の特色のある地域の人々の生活」について扱うものである。

前中単元「県全体の様子」の学習において、岩手県の土地の様子や交通網の広がり、産業の様子について調べ、県全体の様子や特徴を学んできた。そして、前小単元「盛岡市の人たちの暮らし」では、歴史的条件や社会的条件により古くから南部鉄器が作られ、職人によってその伝統や技術が受け継がれて、南部鉄器を使ったまちづくりを広める取り組みが行われていることについて学んできている。

これらの学習を受けて本小単元では、文化遺産から見て特色のある平泉町を取り上げ、産業やまちづくり等を調べることを通して、文化遺産を保護・活用しようとする平泉町の人々の願いや特色のあるまちづくりについてとらえることができるようにしたい。平泉町は、今から約900年前の平安時代、藤原の清衡によって発展し、4代100年にわたり大きく栄えた地域である。鎌倉時代から現代に至るまで、文化遺産が大切に保護され守り伝えられ、国宝第1号に指定された中尊寺金色堂や、特別史跡に指定された毛越寺の浄土庭園が保存されており、町内にある国・県・町指定の文化財は約100件、3000点以上にも及んでいる。また、1980年代になって新しく確認された柳之御所遺跡のように、発掘途中の物もあるがその全容が明らかになるにつれ、文化遺産の大切さが認められ、世界遺産登録に向けた運動へと発展した。そして昨年6月、ユネスコから世界遺産として認定された。また、文化遺産を守り広げようとする取り組みも行われており、イベントや伝統行事が数多く実施され、県内外から多くの観光客が平泉を訪れている。住民による清掃活動や町並み保存の取り組みが進み、中尊寺通りに面した民家の軒先には「休み処」が設置されるなど、観光客を喜ばせようという自主的な活動が行われている。この他にも、講演会や学習会などを通して文化理解を深める活動が行われ、行政と住民が協力し、歴史的な文化遺産を大切に保護するとともに、その価値を活かしたまちづくりが進められている。

(2) 児童の実態

子ども達は前単元「県全体の様子」や「盛岡市の人たちの暮らし」の学習を通し、岩手県全体の地形や交通、産業の概要について地図帳や副読本で調べたり、分かったことを白地図にまとめたりする学習に取り組んでいる。これらの学習を通して、県内にはいろいろな地域があることや、県の土地の様子や交通網の広がり、岩手県の産業や人々の暮らしの様子が、歴史的・社会的条件と深く関わり合っていること等に気付いてきている。

「県全体の様子」の学習では、県内の地形や交通網、産業等について学習したが、表面的なとらえになっている面が見られた。語彙・生活経験の個人差が大きい。課題に対し、自分の生活経験や既習内容を基に自分なりの予想を立てたり、資料から必要な情報を取り出して社会的事象の意味を考えたりする力はまだ不十分である。さらに、分かったことを自分の言葉で表現することを苦手としている子どももいる。

また、生活圏が宮城県の家も多く、県内の他地域についての知識が少ない子が多い。しかし、県内の特色ある地域として、世界遺産登録のこともあり平泉町への関心の高さが見られた。

(3) 指導にあたって

「昨年、平泉が世界遺産に認定された」という、子どもたちが興味・関心をもって追求できるテーマとなる社会的事象がある。本小単元では、導入でその新聞記事や文化遺産の写真を提示し、問題意識を高めさせたい。

展開部分では、具体的な文化遺産についてふれながら、その特色や歴史的背景について理解させたい。また、文化遺産を保護・活用するための取り組みについて調べることで住民・町・県によって様々な工夫や努力が行われていることに気付かせ、地域社会の一員としての自覚や、地域への誇りと愛情を育てていきたい。

終末部分では、学んだことを振り返って心に残ったことや自分達ができることについて話し合い、リーフレットを作ることで平泉町の特色について理解を深め、平泉町のよさをまとめさせたい。

これら一連の活動を通し、平泉町の特色や、そこに住む人々の工夫や努力について具体的にとらえさせていきたいと考える。

3 単元の目標

- 平泉町に住んでいる人々の生活の様子について関心をもち、平泉の文化遺産や、主な行事やイベント、まちづくりの様子などについて、進んで追究しようとする。 [関心・意欲・態度]
- 平泉町の人々の生活と、文化遺産とを結び付けて考えたり、文化遺産を保護・活用しようとする人々の願いなどについて考え表現したりすることができる。 [思考・判断・表現]
- 平泉町の特色について、調べるために必要な資料を収集し、その資料を効果的に活用して調べることができる。 [観察・資料活用の技能]
- 平泉町の文化遺産や、それらを保護・活用している様子、まちづくりなどについて調べることを通して、平泉町の特色を理解することができる。 [知識・理解]

4 単元計画と評価規準 (8時間)

過程	時数	<小単元> 学 習 活 動	評 価	資 料
第一次	1 1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・「春の藤原まつり」の写真を見て、気づいたことを話し合う。 ・地図帳を活用して、平泉町の位置を調べる。 ・平泉町について、知っていることを話し合う。 ・調べてみたいと話し合い、学習問題を設定するとともに、学習計画を立てる。 (文化いさんがたくさんある平泉町は、どのようなまちなのだろう。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○平泉町の様子やまちづくりについて関心をもち、意欲的に調べている。 [関 発言・ノート] ○平泉町の様子について、学習問題や予想、学習計画を考えている。 [思 ノート・発言] 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真：春の藤原まつり ・観光パンフレット ・かわらけ ・地図帳 ・世界遺産認定の新聞
第二次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・金色堂の写真を見て、気付いたことを話し合う。 (なぜ、平泉には文化いさんがたくさんあるのだろう。) ・資料をもとに中尊寺金色堂や毛越寺庭園について調べる。 ・平泉の当時の様子や、藤原氏の力の大きさについて考える。 ・平泉の文化遺産について、考えたことを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○金色堂や庭園の歴史・特長などについて、資料をもとに読み取っている。 [技 ノート・発言] ○平泉町の文化遺産やその特色について理解している。 [知 ノート・発言] 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真：金色堂、毛越寺 ・役場の方のお話
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉町の地形図を見て、気付いたことを話し合う。 (平泉町の地形にはどのような特ちょうがあるのだろう。) ・資料をもとに、平泉町の土地の様子や洪水被害について調べる。 ・洪水被害について、平泉町の人々の思いや願いについて考え、考えたことを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図や資料をもとに、平泉町の土地の様子や洪水被害について理解している。 [知 ノート・発言] 	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉町の地形図 ・洪水の写真

5 時 間	1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防と道路のルートが変更されたことを知り、学習問題を設定する。 (なぜ、堤防と道路のルートが変こうされたのだろう。) ・柳之御所遺跡はどのようなものか調べる。 ・住民の思いについて調べる。 ・平泉町の人々の保護への取り組みについて、考えたことを話し合う。 	<p>○平泉の人々の願いと柳之御所遺跡の価値とを関連づけて考え、表現している。 [思 発言・ノート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の道路予定ルートと現在のルート ・平泉町の地図 ・DVD ・写真：かわらけ、柳之御所遺跡発掘作業の様子 ・航空写真：柳之御所遺跡 ・役場の方のお話
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原まつりの行列の写真から、気付いたことを話し合い、学習問題を設定する。 (なぜ、平泉町では様々なイベントをしているのだろう。) ・イベントカレンダーをもとに、平泉町のイベントについて調べる。 ・様々なイベントを行ったり、それらを広めるための取り組みを行ったりしていることについて、考えたことを交流する。 	<p>○平泉の人々の願いとイベントカレンダー・観光客のグラフを関連づけて考え、表現している。 [思 発言・ノート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真：春の藤原まつり ・イベントカレンダー ・グラフ：平泉町の観光客数 ・環境協会の方のお話
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習から、平泉町のよさについて振り返る。 ・よさを知ってもらうために必要なことは何かを話し合い、学習問題を設定する。 (平泉町のよさを広めるために、どのようなことが行われているのだろう。) ・岩手県・平泉町（行政）・平泉町の人々（住民）の取り組みについて調べる。 ・それぞれどんな願いをもってそれぞれの取り組みを行っているか考える。 ・お話を聞き、平泉町のまちづくりについてまとめる。 ・平泉町のまちづくりについて、考えたことを交流する。 	<p>○平泉町の文化遺産と人々の願い、また取り組みを相互に関連づけて考え、表現しているか。</p> <p>○平泉町のまちづくりについて考えたことを表現している。 [思 ノート・発言]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真：毛越寺通り ・文化財愛護少年団 ・国際通訳ガイド ・観光ボランティア ・世界遺産 ・町長さんのお話
第 三 次 2 時 間	2	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、心に残ったことを話し合う。 ・自分たちにもできることはないかを考える。 ・リーフレットを作って、平泉町のよさを伝えることやその書き方について考える。 ・リーフレットの形に表す。 ・完成したリーフレットを交流し合う。 	<p>○平泉町は文化遺産を庇護・活用しながら特色あるまちづくりを進めていることを理解している。 [知 リーフレット]</p> <p>○平泉町のよさを考え、積極的にあらわそうとしている。 [関 取り組み・リーフレット]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習したノート・資料

5 本時の学習

(1) 本時の指導

導入では現在の平泉町の地図を提示し、当初の道路予定図を重ね合わせ、ルートが変更されたことを捉えさせ、子どもの疑問を基に課題を設定する。平泉町の地図で道路や堤防周辺の様子を確認し、柳之御所に気付かせ、予想を立てさせる。

資料から柳之御所遺跡の価値を調べさせた後、住民の堤防・道路の必要性と文化遺産を保護したいという2つの思いをとらえさせながら、「役場の方のお話（行政）」を提示することで住民の活動が国の計画を変更させたことや国の史跡に指定されて世界遺産の登録に向けた運動につながっていったことも理解させたい。最後に、学習内容を振り返り、平泉のまちづくりに対しての自分の考えをまとめることで、地域社会に対する意識を高めたり愛情につなげたりしたい。

(2) 目標

- ・住民の願いを受けて、国が柳之御所遺跡を保存することにしたことを理解することができる。
- ・平泉の人々の願いと柳之御所遺跡の価値を関連づけて考え、表現することができる。

(3) 仮説との関わりから

比較・検討・再構成できるノートとなるように、自分が調べたことと新たに分かったこと・既習したことを関連づけさせることによって、柳の御所を守ろうとした平泉の人たちの思いに気付かせたい。

(手立て1)

考えを深め、広げるための言語活動を工夫して、柳の御所を保存したことの意義を深く理解させることによって、平泉のまちづくりに対する住民の思いに対する自分の考えや、自分が地域社会に対してどのように関わっていくかを考えさせ、表現させていきたい。

(手立て2)

	評価規準	具体の評価規準A	具体の評価規準B	支援の手立て
評価1	住民の願いを受けて、国が柳之御所遺跡を保存することにしたことを理解している。 〔知識・理解〕	調べた事実に即して、正しく理解し、関連し合っていることに気づいている。	調べた事実に即して、正しく理解している。	堤防の必要性と住民の文化遺産への思いを対比させる。
評価2	平泉の人々の願いと柳之御所遺跡の価値を関連づけて考え、表現している。 〔思考・判断・表現〕	平泉の人々の願いを多面的な根拠をもって考えたり、平泉のまちづくりについて自分の考えを表現したりしている。	平泉の人々の願いを多面的な根拠をもって考え表現している。	板書を手がかりに、平泉のまちづくりの特色についてとらえさせる。

(4) 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点・評価方法(*)	資料
問題の把握 5分	1 新しい堤防・道路のルートが変更されたことを知り、学習課題を設定する。 なぜ、堤防と道路のルートが変こうされたのだろう。	・現在の平泉町の地図を提示し、当初の道路予定図を重ね合わせ、ルートが変更されたことを捉えさせる。	・洪水被害地図・写真 ・平泉の地図 ・堤防と道路工事に関する年表
問題の追及 28分	2 課題に対して予想を立てる。 〈予想される内容〉 ・柳之御所があったから 3 資料をもとに、柳之御所遺跡に対する住民の思いを調べる。 (1) 柳之御所遺跡はどのようなものか。 ・かわらけや輸入品が発見された ・奥州藤原氏の屋敷跡 ↓ その時代の中心地 (2) 住民の思い(堤防・文化遺跡)	・平泉町の地図で堤防・道路の場所を確認させる。 ・地図や、前時までに学習した地形や歴史条件を手がかりに考えさせる。 ・予想をもとに、柳之御所の価値・堤防や文化遺産に対する住民の思いを調べていくことを確認する。 ・「あたらしいきょうど岩手」を基に調べさせる。 ・「かわらけ」の写真を提示し、柳之御所から発掘されたことを知らせる。 ・柳之御所の写真を提示し、屋敷跡だったことをとらえさせ、重要性を理解させる。 ・水害の様子や堤防が住民の念願だったこと、道路工事は国が担当であること、柳之御所を保存するとなると川の形を変えるほどの大工事になることを捉えさせ、住民の柳之御所を保存させたいという思いの強さを考えさせる。	写真 (かわらけ・発掘作業・航空写真) ・柳之御所の資料 ・DVD ・役場の方のお話 (・住民のお話)

	<p>4 町役場の方のお話から、柳之御所遺跡が保存された経緯について調べ、課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>平泉の人たちが、やなぎのごしょを守るための運動をし、国が堤防や道路の場所を変こうして保ぞんすることにしたら。</p> </div>	<p>*住民の願いを受けて、国が柳之御所遺跡を保存することにしたことを理解している。 (発言・ノート)</p> <p>・その後、国の史跡に指定され、世界遺産登録運動が開始したことを知らせる。</p>	
<p>まとめ 1 2 分</p>	<p>6 学習したことを振り返り、自分の考えをノートに書き、発表し合う。</p>	<p>・平泉町民の文化遺産や地域への誇りや愛情を踏まえ、感想を書かせる。 *平泉の人々の願いと柳之御所遺跡の価値を関連づけて考え、表現している。 (ノート・発言)</p>	

板書計画

課題

予想・柳の御所がある

柳の御所

- ・かわらけが見つかった。
- ・藤原氏のやしきあと
- ・中国から輸入された物が見つかった。

奥州藤原氏が大きな力をもっていた時代の中心地

堤防・水害が多い地区

- ・命を守る大切な物
- ・長い間待ちのぞんでいた

住民の思い

まとめ

やなぎのごしょを（守るため）。

そのために、

①平泉の人たちが保ぞんの運動をした。

②国が堤防や道路の場所を変こうして保ぞんすることにしたら。

ノート

課題

柳の御所

- ・かわらけが見つかった。
- ・藤原氏のやしきあと
- ・中国から輸入された物が見つかった。

↓

奥州藤原氏が大きな力をもっていた時代の中心地

まとめ

感想